



音楽療法コース

臨床実習

- C P
- ①豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
  - ②音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶための基礎教育と専門教育を実施する。
  - ③地域社会に貢献するための充実した学外演奏やボランティア活動を実施する。
  - ④各コース担当者は学生との対話に努め、能力に応じた指導を行い、個々の成長を支援する。
  - ⑤音楽療法、心理学の資格取得を支援する教育を実施する。

- D P
- ①音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。
  - ②音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。
  - ③音楽の専門家としての情報収集能力と技術を持ち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。
  - ④常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。